

平成 22 年度 第 2 回 磐田市歴史文書館運営審議会

日時 平成 23 年 2 月 4 日（金） 午後 1 : 30 ~ 3 : 30

場所 磐田市竜洋支所 2 階 会議室

出席者 市歴史文書館運営審議会委員 7 名

鈴木直会長 小杉副会長 鈴木潔委員 高橋委員 市川委員 杉浦委員
福田委員

出席職員 教育委員会事務局職員 6 名

鈴木事務局長 山崎課長 佐藤館長 木村主任 永井囑託 米津囑託

傍聴人 なし

議事 1. 報告事項

(1) 非現用公文書等の移管選別状況について

〔事務局より説明〕

〔委員からの主な意見〕

前年度と比べ地域史料の数が減っているのは？

(回 答) 合併して以降、同資料が重複して存在していたり、本来一つのものがバラで数えていたりなど統一されていなかったものを改めたもので、減ったのではなく、正しい数に変わったとご理解いただきたい。

静岡県以外の県内とは？

(回 答) 磐田市外の県内の間違いです。

合計データを説明しなければわかりにくいということなので、もう少し、すっきりした表にしたほうがよいのではないか。

(回 答) 他県市町などの情報を収集し、次回までに変更いたします。

(2) 閲覧・レファレンス・展示会の利用状況について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

アンケート回答とは？

(回 答) 展示会の内容とこれからの希望をとっています。これからの希望は戦国時代をテーマにしたらという意見が多い。

入館者の把握について。実際には記入せずに入館する人もあるので、数値は大きいのでは？

(回 答) 把握方法については検討中。ただし、博物館と違い、公文書館の展示室は導入部分と考えており、当面現在の方向で止むを得ないと考えている。

(3) 平成 22 年度の寄贈地域史料について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

寄託制度について考えを聞きたい。

(回 答) 指定物件であれば預かることは可能。それ以外は個人で保管をしていただきたい。

協議事項

(1) 平成 23 年度事業計画について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

レファレンスは各支所で利用できないものか？

(回 答) 電話で対応・回答している。企画展を開催、だよりなどで周知を図っている。

図書館との連携は？

(回 答) 資料をそれぞれどちらも持っていないということはしないよう努力することとしている。現在、データを共有しつつある途中段階である。

埋蔵文化財センターの文書類の所在は？

(回 答) 磐田文庫の冊子や見付学校の教育資料を除き、すべて歴史文書館に移管している。

3 周年を節目として広報などで古文書などを寄贈していただくよう市民に呼びかけることはできないか。

(回 答) 文化財だよりのほか、市広報にスペースを使えるように(広報担当と)協議していきたい。

(2) その他

〔委員からの意見〕

今まで調査をしたお宅にハガキを送り、寄贈依頼、もしくは古文書の所在を確認していただきたい。

(回 答) 検討していきたい。広報・周知を早急にしていきたい。

なお、平成 23 年度事業計画案は委員全員の賛同を得、承認されました。